

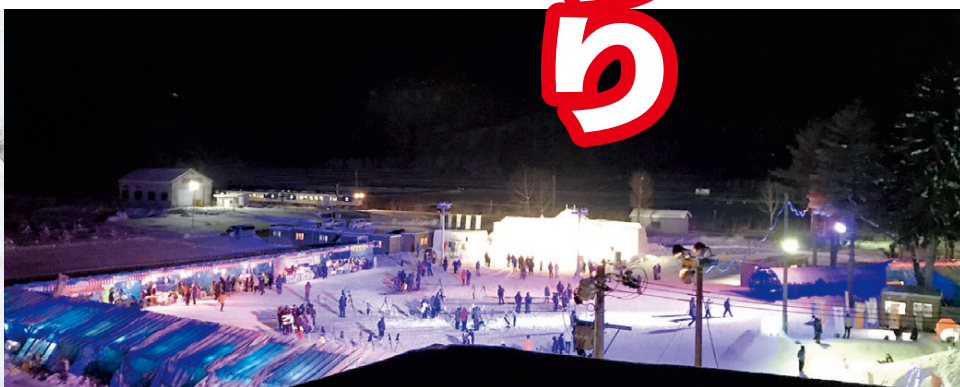
雪不足を乗り越え、今年も盛大に開催！

第48回 只見ふるさと雪まつりの雪まつり

多くの皆さんが来場！
今年も大盛況の雪まつりに

2月8～9日（7日：前夜祭）、只見町最大のイベントである「只見ふるさとの雪まつり」（第48回）がJR只見駅前広場で開催され、町内外から延べ2万3千人が来場しました。

今年全国的に雪が少なく、ここ只見町も史上まれに見る雪の少なさだったことから、一時は大雪像の制作が危ぶまれましたが、町内事業者や関係する皆さんのご尽力により、二〇二〇東京五輪をテーマと



▲子どもたちに大人気だった「どんちゃんスライダー」

▲夜の会場全景



した「東京駅（丸の内駅舎）」の美しい大雪像が完成し、来場した多くの人々を魅了しました。

会場には、例年同様、町内からたくさんの方々が参加して彩りを加えた他、本町と各分野で連携する三条市や「ふるさと交流都市」の柏市にもご参加いただきました。さらに、お笑い芸人の皆さんによる爆笑ライブやアーティストの皆さんが参加した音楽ライブ、町内の各種団体による催しなどステージイベントが途切れることなく行われ、雪まつりを盛り上げました。

前夜祭を含むイベント期間中は、県内テレビ局を中心に多くの報道機関が来場して取材活動を実施しており、改めて「只見ふるさとの雪まつり」の注目度の高さを肌で感じる事ができました。

例年と比べ、雪が非常に少ない雪まつりでしたが、多くの皆さんの笑顔を見ることができた素敵な2日間となりました。



▲多数のメディアの姿も



▲多くの方々が来場



▲会場に笑いを届けたお笑い芸人の皆さん

雪不足で開催を危惧する声も

連日の報道にもありましたが、今年は記録的な暖冬による雪不足が原因で、各スキー場のリフト営業開始時期が大幅に遅れるなど会津の冬に大きな影響を与えました。(※只見スキー場のリフト営業開始日は2月7日)

町内でも「雪まつりの開催はどうなるのだろうか」という声上がり、「第48回只見ふるさとの雪まつり実行委員会」では、大雪像の制作などを中心に慎重な議論が進められました。1月より、規模を縮小して大雪像の制作が始められましたが(高さ13メートル・幅30メートルを高さ6メートル・幅20メートルに変更)、会場近くの町道の雪を使用してきた例年と異なり、今回は新潟県境の山間部の雪を運搬するなど、非常に困難な作業となりました。また、今回集めた雪は、10トントラック約200台分となり、例年と比べて5分の1程の量でした。

※「ミニ雪像コンテスト」は雪不足のため、中止となりました。



▲1月29日の会場
会場には雪が無く、この後も雨が降り続いた



▲1月下旬に町内で咲いたたんぼ
記録的な暖冬が続いた

▼2月7日、完成した大雪像が菅家町長へと引渡された

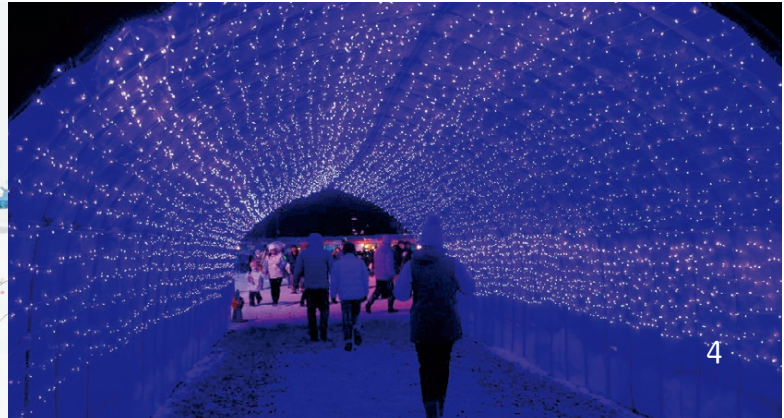


**2月6日にまとまった降雪もあり、
町内事業者や関係者のご尽力によって雪まつり前日には立派な会場が完成!**



例年より規模は縮小されたものの、大雪像とともに雪で一面覆われた会場が完成し、無事に雪まつりを開催することができました。オープニングセレモニーには、今年も多くの来賓の皆様にご出席いただき、盛大にイベント開始がアナウンスされました。

雪不足の影響で雪の入場門は制作できませんでしたが、今年は、イルミネーションのトンネルが設置され、幻想的な灯りを来場者に届けました。





燃えさかる炎とともに「厄払いの儀」・「おんべ」

雪まつり1日目の夜に行われる「厄払いの儀」と「おんべ」(歳の神)は、毎年多くの方が見学に訪れ、雪まつりのメインとなる行事の1つです。「厄払いの儀」は、数え年42歳の厄年を迎える厄男衆により執り行われるもので、平成元年の雪まつり(第17回)から実施されるようになったと言われています。

今年も、厄男衆代表の鈴木聖さん(岩崎)がステージ上でお祓いを受けた後、町内在住や町内出身である23人の厄男衆も松明を片手に勇ましく入場、場内のかがり火に点火をしてステージに登壇しました。代表から厄男衆が1人ずつ紹介されると、会場の熱気はさらに高まり、たくさんの来場者が押し寄せる中、福餅まきが行われました。

最後に、厄男衆が3本のおんべに点火をして「厄払いの儀」は無事、終了となりました。来場した皆さんが、拾ったお餅をおんべの火で楽しそうに焼く姿や炎が燃え盛る光景をカメラに収めている姿がとても印象的でした。



只見のグルメが大集合！「ゆきんこ市」

多くの出店が並んだ「ゆきんこ市」は、雪まつりの開始から終了まで多くの人々で賑わいました。今回は、21の団体に出品をいただき、焼き鳥、りんご飴などお祭りの定番メニューや「手打ちそば」「味付マトンケバブ」「南郷トマトマトンカレー」など只見の郷土食・B級グルメが販売され、訪れた皆さんのお腹と心を満たしました。

★今年も「かまくらパー」の吉津年浩さんより、JR只見線の利活用にと、売上金74,390円を寄付いただきました。



▲盛況のゆきんこ市と雪むすめ



▲(左上から)マトンケバブカフェ、太郎鮎、小池六郎、只見町そば部会、ヤマサ商店、げんき村



三条カレーラーメン (新潟県三条市)



Hot レモネード、ジンジャーエール (千葉県柏市※ふるさと交流都市)

毎年、交流都市などからご参加をいただきありがとうございます！

今年も、「只見町ふるさと大使」の皆さんもブースを出してくださいました



ふるさと大使は、只見町の魅力を全国に発信する町外在住の皆さん(只見町広報員)です。

今年度は、仕事などの合間を縫い、首都圏で開催されるイベント等で只見町のPRを積極的に行ってくださいました。また、町内3小学校が都内への修学旅行時に実施した只見町PR(手作りチラシの配布)にも駆け付けてくださいました。

ふるさと大使の皆さん、いつも本当にありがとうございます。



会場を盛り上げる! 「ステージイベント」

前夜祭から雪まつり終盤まで、大雪像前のステージでは、たくさんのイベントが行われ、会場を大いに盛り上げました。町内各種団体の発表や「日本レコード大賞」で新人賞受賞歴を持つ演歌歌手「徳永ゆうき」をはじめとするアーティストライブ、昨年末のM-1グランプリで3位に輝いた「ぺこば」らが出演したお笑い芸人!爆笑ライブなど、魅力あるステージが続ききました。

◆写真【町内団体】①梁取太々神楽 ②小林早乙女踊り
③天領只見仙嶽太鼓と只見中生徒によるよさこい
④舞踊団体「はぎの会」⑤コーラス「フルール」
【アーティストライブ】⑥「徳永ゆうき」⑦「津吹みゆ」
⑧只見町出身の大竹涼華さん ⑨「宏菜」
【今年も登場】⑩ダンス&サイレントコメディアー「GABEZ」
⑪「あっけらかん」マジックショー(只見町ふるさと大使)
【爆笑ライブ】⑫「ぺこば」⑬「夢屋まさる」⑭「ガリベンズ矢野」⑮「ペンギンズ」※来場者のゲスト登壇あり





▲歌声自慢の皆さんが集うカラオケ大会



▲只見音研歌謡ショー

雪まつりの主役は町民の皆さん！

「只見ふるさとの雪まつり」は、実行委員会だけでなく、町民の皆さんによって作り上げられています。イベント期間中には、多くの方が様々な形で参加し、会場内外で見所が盛りだくさんの雪まつりを開催することができました。

雪まつりには、只見の伝統や文化、食などの魅力に加え、町民の誇りが詰まっています。今回も、そうしたものを町外から来場いただいた大勢の皆さんにお届けする絶好の機会となりました。



▲ゲームイベント「長靴飛ばし」



【写真左から】雪中大神輿、2月1～16日に開催された渡部等さん(小川)の作品展、只見の習俗「火の用心」の紹介、只見高生が作成した雪まつりPRポスターの紹介

※出演・出店等いただいた全ての皆様の撮影・掲載ができません申し訳ございません。

「しぜんしゅと・只見ファッションコレクション」の開催告知も行われました！


株バンダイナムコエンターテインメントが展開する「地元アソビづくり隊！」。只見町の子もたちが発案したアイデアが第1回優秀賞に輝き、それを形にするイベントが開催されることとなりました。JR只見線車両などを舞台に、豪華ゲストをお招きして地元の仕事着を使ったファッションショーが行われます。

(詳しくはバンダイナムコのHPをご覧ください。)

※雪まつり会場では、令和2年3月20日の開催と告知されましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が4月以降に延期されることとなりました。



▲発案した子どもたち雪まつり会場で告知を行った



「第48回只見ふるさとの雪まつり」にお越しいただいた皆様・開催にご協力いただいた皆様・来られなかったけれど応援してくださいました皆様、本当にありがとうございました。次回のご来場を心よりお待ちしております。